

第 39 回大分国際車いすマラソン 報告書

日時: 11 月 17 日 結果: 9 位

洞ノ上選手文責(福岡県)

先日、大分国際車いすマラソンに出場してきました。

レース当日は、風もなく、絶好のレース日和となりました。

スタートからハイペースとなり、5 km地点では、世界記録を上回るペースでした。鈴木とマルセルによるペースの上げ下げが激しかったので、いつも以上にきつい序盤となりました。

スロースターターの僕は、5 km以降からエンジンがかかってくるのですが、今回は、常にきつい状態でした。後で分かったことですが、実は、この時ろっ骨にヒビが入っていたようです。

レース中も痛みはありましたが、なんとか先頭集団の後方で、風を避けながら食らい付いていました。しかし、心拍数は、なかなか下がらず、10 kmを通過するころには、本当にきつくて、ここで漕ぐ手を止めて、先頭集団から切れたらどんなに楽か...と思うほどでした。

その後、25 km辺りで、マルセルと鈴木に逃げられましたが、なんとか第二集団には踏みとどまりました。最後は、9 人といった大集団でのゴールスプリントとなりましたが、競技場に入っても、力なく集団の後方でゴールとなってしまいました。しかし、皆さんの声援のおかげで、なんとか気持ちを切らさずに最後まで走り切ることができました。

今回のレースは、今後、僕の人生においても、とても大きな影響を与えるものになると思います。

結果は、総合 9 位(国内 5 番)で、目標としていた、来年のマラソンワールドカップの日本代表の選考基準である、国内 3 位以内には届きませんでした。結果が悪い時は、いつもでしたら「もう一度走りたい」と思うのですが、今回は、あまりの痛みで、そうは思いませんでした...

応援していただいた皆さんに、結果で恩返しすることができず申し訳ない気持ちでいっぱいです。

現時点では、国内 3 位までとの発表ですが、国内 6 位までに拡張される可能性もあるようなので、その知らせを待ちたいと思います。

そして、今後は、世界ランキングを上げる作業に注力して、東京パラリンピックに繋げていきたいと思います。今後も変わらぬご声援を宜しくお願いいたします。



© Rokuro INOUE

前日のトレーニング風景 in 大分川河川敷。

10 月中旬より新しいレーサーとなり、これまでよりポジション(体の位置)が低く、埋まり込むような感じとなっています。

下に押し込んだ時に、ろっ骨に負担がいつってしまったようなので、ポジショ

ンの調整を行いたいと思います。



スタート前。秋晴れです。



最後の力を振り絞るも、残っておらず失速

大分国際車いすマラソン大会成績は：<https://kurumaisu-marathon.com/>